

男子ソフトテニス部について

1.目標

「近畿大会出場」

1期生から掲げてきた目標である。1期生、2期生は近畿大会や県大会はおろか神戸市大会で1勝もしたことがなかったチームであったが、自らを鼓舞し大きな目標を立てた。

2.チームとしての芯

ソフトテニスを学ぶのではなくソフトテニスで学ぶという姿勢を念頭に置いている。

人として大切なことを学ぶ場こそが男子ソフトテニスである。

- ・挨拶
- ・感謝の気持ち
- ・気遣い
- ・気づく力、動く力
- ・応援されるチームへ

日ごろから何度も声掛けをすることでこれらの共通認識ができてきているように感じる。

3.結果

令和2年度	神戸市新人戦	団体の部	準優勝（県大会出場）
	兵庫県新人戦	団体の部	3回戦敗退
令和3年度	神戸市総体	団体の部	第5位（県大会出場）
	兵庫県総体	団体の部	第5位（近畿大会出場）
	近畿総体	団体の部	1回戦敗退

4.新チームについて

2年生 1人 1年生 10人 計11人

チームとしての近畿大会出場の目標を果たし、先輩の結果を超えようと日々努力している。今自分は何をすべきかを常に問いかけ、周りから応援されるチームを目指している。2年生が1人しかいない中だが、キャプテンとして全体をまとめ、自らがストイックにやるべきことをやる姿勢を貫いている。その結果、上手にチームをまとめることができているため、生徒だけの活動でもよい雰囲気練習をすることができている。

5.コロナ禍における活動

コロナ禍により、満足に活動ができていないのが現状である。普段は大きな声を出して、活気良く活動しているが、コロナ禍の今、なかなか声も出せずに我慢の日々が続いている。練習時間も制限され、大変ではあるが、生徒たちは今できること、目の前のことに一生懸命尽くし、感染対策をしながら練習をしている。